

お 知 ら せ
平成 20 年 4 月 24 日
前 橋 地 方 気 象 台

大雨及び洪水警報・注意報の改善について

大雨及び洪水警報・注意報の基準として災害発生と対応のよい新たな指標（土壌雨量指数、流域雨量指数）を導入すると共に基準を見直し、気象災害時の避難勧告等に、より有効に活用できるよう改善を行います。

平成 20 年 5 月 28 日（水）から、大雨及び洪水警報・注意報の基準を変更し、気象災害時の避難勧告等に、より有効に活用できるよう改善を行います。

大雨警報・注意報の基準として、地上に降る雨の量を積算した指標である 24 時間雨量に代えて、土壌中に貯まっていると推定される雨水の量を表す土壌雨量指数を降雨による土砂災害発生の危険性を示す指標として導入します。これにより、大雨警報・注意報を避難準備等の防災活動に一層活用できる防災気象情報として発表します。

また、洪水警報・注意報の基準として、対象予報区域内の地上に降る雨の量を積算した指標である 24 時間雨量に代えて、河川の流域内に降る雨の量に基づき算出する流域雨量指数を新たな指標として導入します。これにより、水害発生の危険性をより高い確度で捉えることができるようになります。

気象庁は、防災対策にさらに有効活用されることを目指し、平成 22 年度の出水期からは、これらの指標を用いて市町村の区域ごとを対象とした警報・注意報の運用に切り替えることを計画しています。

参照：前橋地方気象台 H P（<http://www.tokyo-jma.go.jp/home/maebashi/>）

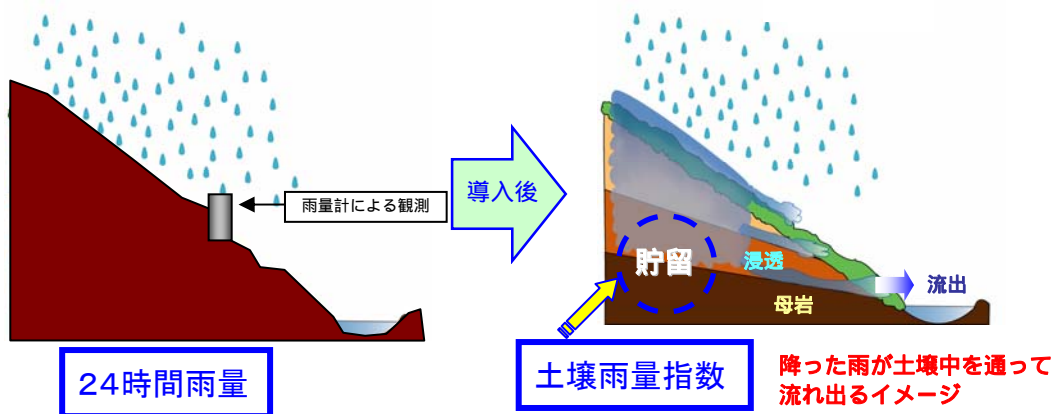
[本件に関する問合せ先]
前橋地方気象台防災業務課
TEL027-231-1404

< 大雨及び洪水警報・注意報の指標 >

	指 標	
	現在	変更後
大雨警報・注意報	1時間雨量、3時間雨量、 24時間雨量	1時間雨量、3時間雨量、 土壌雨量指数
洪水警報・注意報	1時間雨量、3時間雨量 24時間雨量	1時間雨量、3時間雨量 流域雨量指数

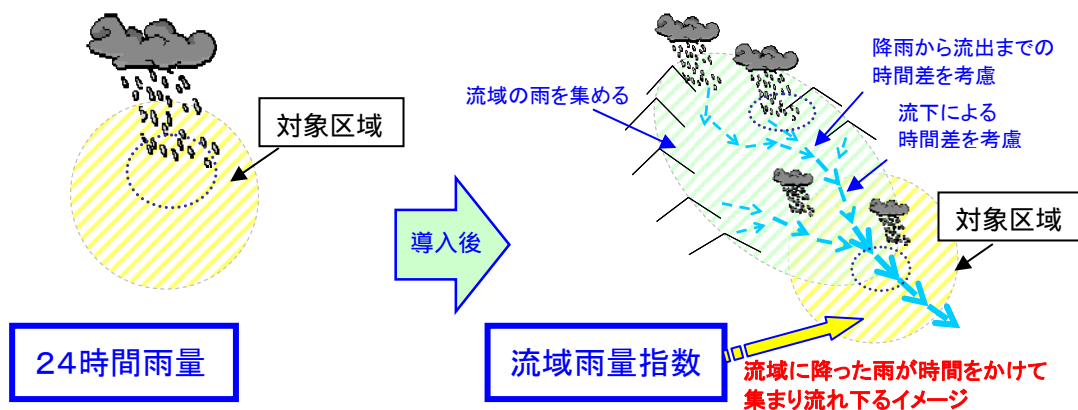
< 土壌雨量指数の導入 >

地上に降る雨の量を積算した指標である24時間雨量に代えて、土砂災害発生の危険性を示す指標である土壌雨量指数を導入します。土壌雨量指数は、土壌中に貯まっている雨の量をタンクモデルを用いて計算した指数です。



< 流域雨量指数の導入 >

対象区域に降る雨の量を積算した指標である24時間雨量に代えて、洪水災害発生の危険性を示す指標である流域雨量指数を導入します。流域雨量指数は、タンクモデルを用いて流出量を計算し、さらに傾斜に沿って集まる雨水の量を指数化したものです。



タンクモデルは、浸透や流出を考慮したタンクを3つ重ね、降った雨が「地中に浸み込む過程」と「流出過程」をモデル化したものです。解析雨量と降水短時間予報による雨量を基に、5 km格子単位で計算します。